

2018.11.17SAT-2019.1.27SUN

世田谷美術館
Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
Tel. 03-3415-6011(代表)
www.setagayaartmuseum.or.jp



役に立たない機械をつくった男
ブルームナリー

BRUNO
MUNARI

Quello delle
Macchine Inutili

主催 世田谷美術館(公益財団法人世田谷文化財団)、読売新聞社、美術館連絡協議会 後援 イタリア大使館、イタリア文化会館、世田谷区、世田谷区教育委員会
協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網 協力 アリタリア、イタリア航空、日本通運 特別協力 特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会 出品協力 パルチーノ、C S A C
開館時間 午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで) 休館日 毎週月曜日および年末年始(2018年12月29日~1月3日、2019年1月3日、木)
*ただし、2018年12月24日(月)振替休日、2019年1月14日(月)祝日は開館。2018年12月25日(火)、2019年1月15日(火)は休館。
観覧料 一般 1000(800)円、65歳以上 800(600)円、大高生 800(600)円、中高生 500(300)円
*()内は20名以上の団体料金 *障害者の方は500円、ただし、小・高・大学生の障害者は無料、介助者(当該障害者1名につき)1名は無料。
*リピーター割引 *全席中、本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金にてご覧いただけます。
展覧会()案内 03-3477-8600(ロータリー)
撮影: フランシスコ・ロバート・エドワーズ/アガネーザ・エドワーズ/エドワーズ・エドワーズ/1948年
Federico Parolini © Studio Federico Parolini - Regione Lombardia / Museo di Fotografia Contemporanea, Milano-Cristallo Balsame

BRUNO MUNARI

ブルーノ・ムナリ 役に立たない機械をつくった男

イタリアの美術家でありデザイナーのブルーノ・ムナリ(1907-1998)は、一風変わった本を長年にわたって制作しました。綴じられた紙の色も形もさまざまで、文字は印刷されていません。めくることができ、抽象絵画のような本です。(読めない本)と名付けられ、紙の質感と色彩の変化で物語がつけられていきます。

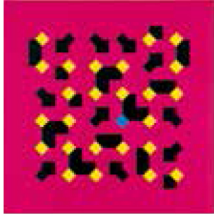
ムナリの活動は、1920年代末にイタリア未来派の二員として始まりました。未来派は、伝統的な表現を否定し、新時代の美術を創造しようとする運動です。そのなかでムナリは、色をつけた木片をいくつか糸で繋ぎ、天井から吊るして風で動く(役に立たない機械)を発表しました。作品が動くということ、見る人が参加して作品が成立することは、第二次世界大戦後に制作された絵画やオブジェ作品、インスタリアル・デザインの仕事でも重要な要素となっています。

それはムナリが、とても簡単な方法でものの形や見方を変えられるということを知り、誰もが創作する楽しみを得て新しい目で世界と接するべきだと考えていたからです。そのため晩年には子どもたちのためのワークショップに力を注ぎました。

本展覧会は、初期のイタリア未来派時代の絵画から、晩年の絵本原画やデザイン作品まで、日本国内の所蔵品に日本初公開となるイタリアのコレクションを多数加えた約300点で、ブルーノ・ムナリの活動の全容をご紹介します。ムナリが伝え続けた見ること・作ることの喜びを、ぜひ体感してください。



《チェア型照明器具「フョーランド」》
1964年/1999年
特定非営利活動法人市民芸術活動推進委員会



《(アール・ブールの色彩)1975年
オーストラリアのデザイナーロニー・フリード

文化とは驚き、

つまりこれまで知らなかった

事柄から成り立っている。

「モノからモノが生まれる」230頁



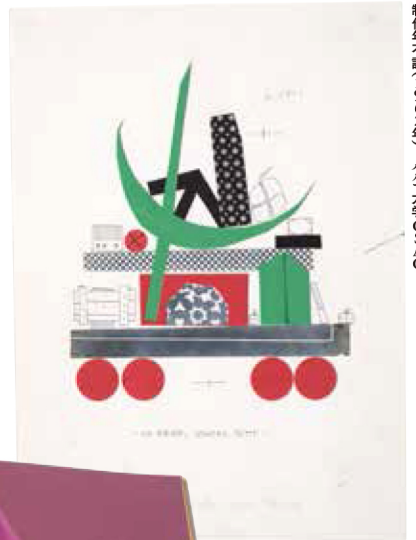
《旅行のための彫刻》1965年 富山県美術館

関連イベント

- パフォーマンス「風が吹くかぎりずっと——ブルーノ・ムナリのために」**
国際的に活躍するイタリア人振付家・演出家ルカ・ヴェジエッタがムナリに捧げる新作パフォーマンス。
展覧会チケット付きの公演です。ぜひ開演前にお楽しみください。
原案・構成・振付：ルカ・ヴェジエッタ 出演：鈴木エミ、竹内英明、美術：吉田 朋 音楽：パオロ・ランツァ作曲「Nothing」
日時 2018年11月30日(金)、12月1日(土) 各日午後6時開演(受付開始午後4時)
場所 世田谷美術館1階展示室・エントランスホール 定員 各日70名
料金(予約/当日) 一般3,000円/3,500円 小・中・高・大生1,500円/2,000円
予約 2018年10月10日(水)午前10時より受付
※当日精算です。※詳細は当館ホームページをご覧ください。
- 講演会「ムナリの言葉から考えるデザイン教育」**
ムナリの著作の数々を翻訳している阿部雅世氏に、ムナリの言葉に込められたデザイン教育の本質について、デザイナーの仕事やワークショップの実践をもとに語っていただきます。
講師 阿部雅世(デザイナー、ベルリン国際応用科学大学教授)
日時 2018年12月22日(土)午後2時~午後3時30分(開場は午後1時30分)
場所 当館講堂
定員 当日先着140名 ※当日午後1時よりエントランスホールにて整理券を配布。
参加費 無料 手話通訳付。
- 講演会「ムナリの創造思考とその魅力」**
現代においても多くのクリエイターに刺激を与えているムナリの作品。本展覧会のカatalogと広報印刷物をデザインした加藤賢策氏に、その魅力をうかがいます。
講師 加藤賢策(LABORATORIES代表 アーティスト/ディレクター) 聞き手 当館学芸員
日時 2019年1月19日(土)午後2時~午後3時30分(開場は午後1時30分)
場所 当館講堂
定員 当日先着140名 ※当日午後1時よりエントランスホールにて整理券を配布。
参加費 無料 手話通訳付。



《陰と陽》1953年
ジャック・リオン・ヴォドツ・エ・ブルーノ・ダネーゼ財団
Photo: Roberto Marossi.
Courtesy Fondazione Jacqueline Vodoz e Bruno Danese



《かかったままの買うよ ジョーニ・ロドリゲス・ムナリの望星のための機械の習作》
制作年不詳(1962年) ハルマ大学CSAC



《木々》1993年 バッコリ・コレクション

木
それは
たったひとつの種の
ゆっくりとした
爆発
【ムナリのことば】18頁



《読めない本の試作》1955年 ハルマ大学CSAC

ムナリの言葉の出典：
ブルーノ・ムナリ著、萱野有美訳
『モノからモノが生まれる』
みすず書房、2007年
ブルーノ・ムナリ著、阿部雅世訳
『ムナリのことば』
平凡社、2009年

【同時開催】ミュージアム コレクションⅢ
「アフリカ現代美術コレクションのすべて」
2018年11月3日(土・祝)~2019年4月7日(日)

【次回企画展】「田沼武能写真展 東京わが残像 1948-1964」
2019年2月9日(土)~4月14日(日)

100円ワークショップ
どなたでもその場で気軽に参加できる工作など。
日時 企画展開催中の毎土曜日 午後1時~午後3時
会場 当館地下創作室 参加方法 時間中随時受付 参加費 1回100円



世田谷美術館
Setagaya Art Museum
〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 Tel.03-3415-6011(代表)
ご案内:03-5777-8600(ハローダイヤル) www.setagayaartmuseum.or.jp

【交通案内】
・東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バス①「美術館」下車徒歩3分
・小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス②「砧町」下車徒歩10分
・小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス③「美術館入口」下車徒歩5分
・来館者専用駐車場(60台、無料):東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分